

6章 資料編

1 情報提供資料

これからの 地域コミュニティ

0

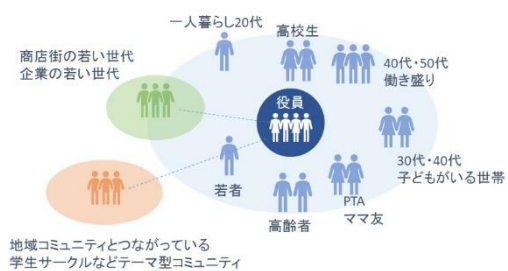
地域コミュニティとは

- Community(コミュニティ)は、「共同体」、「地域社会」、「近隣社会」と訳されることが多い。
- インターネット上での集まりや地域を越えて幅広い人材で活動を展開する組織(NPO等)もコミュニティと言われている。

1

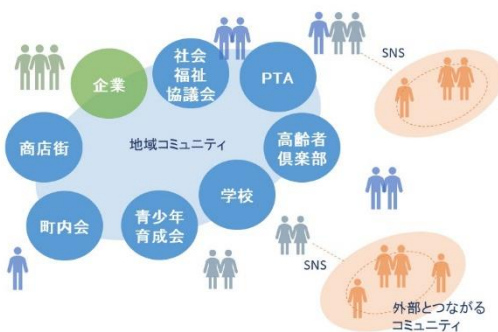
地域コミュニティのメンバー

地域コミュニティは様々なメンバーで構成されています



2

地域コミュニティを運営に関わる組織・構成



3

地域コミュニティの必要性

- 災害時の助け合い
- 高齢者の見守り
- 子育て支援
- 除雪・排雪の協力
- ゴミステーションの管理

4

地域コミュニティの活動の事例

5

生活サービス × コミュニティカ

- ・芽室町上美生地区にあるAコープが開店。
- ・「NPO法人上美生」が、店舗跡で飲食料品などの販売業を始める。



みんなのお店KAMIBI(芽室町 上美生地区)

6

子育て支援 × コミュニティカ (高齢者力)



札幌市清田区 北野の子ども食堂



高土見市の子育てサロン「ミッキークラブ」

7

高齢者の見守り × コミュニティカ 町内会 社会福祉協議会



8

高齢者の見守り × コミュニティカ 町内会 社会福祉協議会

- ・地域住民組織に対し、市から水道検針業務を委託している。
- ・月1回の検針の際に、高齢者に声掛けをしながら見守り活動を行っている。



水道検針で高齢者の見守り(島根県 雲南市)

9

高齢化 × コミュニティカ (女性力) × 医療福祉



岩手県花巻市 コミュニティカフェ「こっほろ土澤」

10

高齢化 × コミュニティカ (高齢者力)

- ・団地内の高齢者の居場所づくりと個食(孤食)の改善をするためちょっとしたおしゃべりを通じて、団地内の課題発見、見守り体制を強化。



100円食堂(沖縄県 那覇市)

11

防災 災害対応 × コミュニティカ 町内会



札幌市手稲区新築家地区 災害図上訓練



札幌市南区藤野地区 災害図上訓練と炊き出し訓練

12

交流人口 × コミュニティカ (高齢者力)



浦臼町:外国人を対象にしたサイクリングツアーの住民ガイド

13

空き家利活用 × コミュニティカ

- 2014年に閉鎖となった幼稚園の払い下げを受けて、会館をリノベーションした。
- 多様な活動の場として広く利用されており、収益を生んでいる。



ふくい会館(北海道 札幌市) 14

空き家利活用 × コミュニティカ

- 人口7,000人弱のまちで元保育園を活用し、パン屋とカフェを開業。
- 国内だけでなく、海外からの来客も増えている。



https://greenz.jp/2016/10/21/talmari_2016/

タルマーリー(鳥取県 智頭町) 15

空き家利活用 × コミュニティカ

- 空き家を資源として活用するため、5年間の期限付きで、空き家所有者に物件を提供してもらい、利用者を募集してストック循環。



ハウスハルデン(ドイツ ライプツィヒ) 16

空き家利活用 × コミュニティカ × 建築家アーティスト

- 空き家や土地を地域住民たちで共有し、エリアの開発に乗り出した
- 建築家やアーティストの集団と協力



コミュニティ・ランド・トラスト(イングランド リバプール) 17

空き地利活用 × コミュニティカ

- 誰でも自由に参加できる新しいコミュニティの場を創出。
- 空き地を市民で共有し、庭としての機能だけでなく、教育や研究のための重要なネットワークにもなっている



アーバンガーデン(ドイツ ベルリン) 18

再生可能エネルギー × コミュニティカ × 防災災害時対応

- 太陽光発電と蓄電池などでエネルギーをコミュニティ内で共有する。



東松島市スマート防災エコタウン 19

エリアマネジメント × コミュニティカ

- 居住者が街を維持、管理、運営するための管理組織を組成。



ブルームガーデンのぞみ野(兵庫県 姫路市) 20

エリアマネジメント × コミュニティカ

- 定住者が少ない地域であるため町内会がなく、エリアマネジメント組織でまちづくり活動を実施
- 花壇づくりや清掃活動などの環境美化のほか、夏まつりやイルミネーションなどのにぎわいづくりの取組も行っている



倶知安町エセコひらふ地区エリアマネジメント 21

エリアマネジメント × コミュニティ

- 震災復興に向け、長期的な価値向上につながるまちを目指す
- 顔の見える関係や安心・安全なコミュニティづくり、公共空間を活用したイベントの開催などを行っている




宮城県仙台市 一般社団法人荒井タウンマネジメント

22

子育て × 高齢化 × 空き家・空き店舗 × コミュニティNPO

1980年代後半 → 1990年代 → 2004年




横浜市戸塚区 ドリームハイツ
NPO法人 ふらっとステーション・ドリーム

<http://kanachari.jp/blog>

SNS × コミュニティ

【Domingo】
【マチマチ】

- (Domingo) 北海道の情報一覧を見ることができる地域密着型のアプリ
- (マチマチ) 地域での困り事解決や、医療・暮らし・ショッピング・グルメ・イベントなどの情報共有ができる



24

SNS × コミュニティ

【next door】

- アメリカ発のローカルSNS（北米で141,000のコミュニティが運営）
- モノの貸し借り、イベントのお知らせ、小学校の情報、財布を落としたなど、さまざまなシーンで活用されている
- ニューヨークをはじめ650の地方自治体が提携し、犯罪やそのほかの重要な情報を配信するためにも活用している



25

地域コミュニティの役割が重要になっています

- 人口減少、少子高齢化などに伴い地域コミュニティの役割が重要になります。

地域コミュニティに求められる役割

- 空家・空き地
- 高齢者・福祉
- 災害対応
- 子育て支援
- 清掃・環境美化
- ゴミステーション
- 防犯・交通安全
- お祭り・イベント

地域コミュニティを担ってきた町内会

高齢化・担い手不足

役員などの引退

これまでの町内会活動

26

地域コミュニティマネジメントを考える時代

人口増加 → 人口減少 少子高齢化

子どもが主役 → 子どもから高齢者

戦後の町内会（自治会） → 冠婚葬祭は企業へ → 町内会 担い手不足 など → 地域コミュニティ

地域コミュニティの重要性は高くなる

地域コミュニティの運営に関わる組織の多様化

27

2 アンケート票

「市民自治を考える市民ワークショップ」 アンケート

今後の参考にさせていただきますので、以下のアンケートにご協力下さい。

質問1 市民自治を考える市民ワークショップに参加して

(1) 参加された感想をお聞かせ下さい。最もあてはまるもの1つに「○」をつけてください。

- () ① 大変満足 () ② 満足 () ③ 不満足
() ④ 大変不満足 () ⑤ その他【 】

(2) (1) で「①大変満足」「②満足」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- () ① 市政に参加できたから () ② 他の人の意見を聞くことができたから
() ③ 報酬がもらえるから () ④ 新しい気づきや発見があったから
() ⑤ その他【 】

(3) (1) で「③不満足」「④大変不満足」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- () ① 有意義な話し合いができなかったから () ② 市政について理解できなかったから
() ③ 思ったより大変だったから
() ④ その他【 】

質問2 情報提供について

(1) 地域コミュニティの現状や課題、取組事例などの情報提供について、あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- () ① 分かりやすかった () ② 大変参考になった
() ③ もう少し詳しく聞きたかった () ④ よくわからなかった
() ⑤ その他【 】

(2) (1) で「④よくわからなかった」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- () ① 内容が難しい () ② 説明が不十分
() ③ 用語が難しい () ④ 話が聞き取りにくい
() ⑤ 説明の時間が短い () ⑥ その他【 】

質問3 話し合いについて

(1) 話し合いの方法について、あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- () ① 話しやすい方法だった () ② 最初はなかなか言葉が出にくかった
() ③ 話しづらかった () ④ その他 ()

(2) (1) で「③話しづらかった」とご回答された方にお伺いします。その理由は何ですか。(自由回答)

質問4 参加して得たものは何ですか。あてはまるもの全てに「○」をつけてください。

- () ① 地域コミュニティへの理解が深まった
() ② 地域コミュニティへの関心が高まった
() ③ 自分の考えを整理することができた () ④ 他の人の意見が参考になった
() ⑤ 意見を言うことの難しさを感じた () ⑥ 特に何もなかった
() ⑦ その他【 】

裏面に続きます

() ① 市民の意見が反映されるので良いことだと思う
() ② 専門家で実施した方が良いと思う
() ③ より多くの市民が参加できる工夫が必要だと思う
() ④ その他【

() ① ぜひ参加したい () ② 参加したくない
() ③ どちらとも言えない () ④ その他

理由

(2) あなたの年代を教えてください。あてはまるもの1つに「○」をつけてください。

☐ ①10代	☐ ②20代	☐ ③30代	☐ ④40代
☐ ⑤50代	☐ ⑥60代	☐ ⑦70歳以上	

--

38

3 グループごとの意見

(1) テーマ1 『地域コミュニティってなんだろう?』における各グループの意見

1) Aグループ

○地域コミュニティのイメージは?

【町内会のイメージ】

- ・必要であるが面倒である
- ・仕事(本業)との両立が難しい
- ・意識の高い高齢者にまかせっきり

【PTA (小学校など)】

- ・無駄な仕事もある (PTA)

【担い手がいない】

- ・年代も様々、交流の場になる
- ・仕事が多いためスリムに

【高齢者の方が多い】

- ・ご年配の方、お子様、様々な年齢の人が交流する場 (盆踊りなど)
- ・町内会が主になって清掃、お祭り、花壇準備、学童の見守り、雪かき等
- ・札幌だと特にレジャー施設がたくさんあるので、あまり楽しくなさそうなイメージ

○地域コミュニティの範囲は?

【町内会の範囲】

- ・今の構成や年齢などではできることが限界ではないか

【小学校の範囲】

- ・子どもの安全を守ることが目的なのに、嫌なことを押し付けるような組織になっている
→趣味・テーマのコミュニティ (楽しい)
- ・都心部と農村部でも役割や必要性が違うのではないか

○地域コミュニティのプレイヤーは?

- ・PTA
- ・企業
- ・子ども
- ・親
- ・町内会
- ・病院(訪問施設)→見守り
- ・学校
- ・住民
- ・企業

○地域コミュニティの役割や課題は?

- ・暮らし支えるのに必要
- ・合意と引き継ぎが難しい

- ・ごみの維持管理など、暮らしを快適にするために必要なこと
→目的が変わっている
- ・ネガティブな内容（ごみステーション）についての地域内での合意と引き継ぎが課題
- ・見回りを平日の昼間にするのは辞めた方がいいと思っている
- ・既存の組織は新しいことがしにくい
- ・できる範囲でやることが大事
- ・自分の家庭や自身にメリットを感じやすくなるといい

2) Bグループ

○地域コミュニティのイメージは？

- ・町内会
- ・町内会のレクリエーション 焼肉会(若い人を呼び込むため)
- ・距離感が難しい
- ・ファイターズの会
- ・不安 3歳から同じところに住んでいるが、隣近所の人を知らない
将来的に独身老人になってしまう不安がある
- ・相互扶助 それほど密着していなくてもゆるく繋がった関係
- ・情報を受け取れる

○地域コミュニティの範囲は？

- ・近所、お向かいさん、家の並び
- ・あいさつできる
- ・連合町内会
- ・町内会
- ・町内会より、家の近さとかの方が関わりやすい
- ・エリアの区切りは考える必要がある
- ・アパート・マンションが増えている
- ・保育園・小学校の親同士の結びつきが強いイメージ

○地域コミュニティのプレイヤーは？

- ・町内会に企業が多い(中央区)
- ・町内会役員
- ・おせっかいさん

○地域コミュニティの役割や課題は？

【安心・安全な暮らしを整える】

- ・除雪：面倒を見てくれる(除雪)、頼んでいないのにやってくれる
- ・防災・防犯：災害時に声を掛けあえる関係
防災訓練はやっていきたい
地震で若い方が高齢者のために水を運んでいた(いつもは関わりないけれど)

【情報受信・発信方法】

- ・情報を受け取る、発信、手段、方法
- ・街灯が切れている→町内会に言えばいい？
- ・誰に言えばいいのかわからない
- ・どう参加していいかわからない人もいるはず
- ・困りごと

【地域コミュニティ(町内会)への参加】

- ・賃貸マンションは加入してくれない(町内会)
- ・イベントに参加してくれない⇔魅力を感じない 日中だから行けない
- ・担い手がない

3) Cグループ

○地域コミュニティのイメージは？

- ・ごみステーションの管理 捨て方のマナー、子どもの教育も必要
- ・ごみステーション、除排雪、イベントなど→生活には欠かせない
- ・マンションの管理組織など
- ・町内会が一番身近に感じる
- ・町内会→少し前ほど活発ではない

地区によって活発さが異なる

- ・神社を知ってもらおう団体を小樽でしていた
- ・習い事のコミュニティ 隣の学校とも

○地域コミュニティの範囲は？

- ・地域によって活動に差があるのでは？

○地域コミュニティのプレイヤーは？

- ・学校→スポーツ少年団、合併してきている 子ども中心は難しくなっている
- ・高齢者
- ・リタイヤ世代
- ・商店街
- ・NPOなどの団体
- ・核家族化によって関わりが少なくなっている
- ・長年地域に住んでいる人に負担がかかる
- ・3世代で住むと世代間の交流もあるのではないかな
- ・高齢化が進むと単身者も増えてあり方が変わってくる

○地域コミュニティの役割や課題は？

【災害時】

- ・災害時の対応などは町内会ですと良いと思う
- ・災害時の安否確認もしてはどうか
- ・班長として災害時に声掛けが必要ではないかな
- ・地域の要望を市にあげる、窓口としての役割

【イベント】

- ・子どもが少ないけどイベントを多くやっているところもある
- ・活動が少なく参加者も減っている
- ・七夕
- ・お祭り
- ・入園、卒園
- ・高齢者のイベント
- ・20～30代向かない…

【情報が入らない】

- ・回覧板だけだと情報が入ってこない
- ・マンションでは回覧板も回っていない、掲示板だけ

4) Dグループ

○地域コミュニティのイメージは？

- ・地域コミュニティが希薄になっている
- ・あいさつはコミュニティの原点！
- ・町内会、子供会
- ・町内会、亡くなった方のお葬式
- ・PTA、町内会…は、地域コミュニティという感じがしない、ピンとこない
- ・やって当たり前のことだから違う
- ・マンションの管理組合
- ・除雪をし合って“ありがとう”、“あいさつ”
- ・ネット上のコミュニティはあるけど、地域のことは知らない
- ・顔見知り、仲が良い、気心知れた仲
- ・花植え、掃除
- ・災害時の見守り、助け合い
- ・あいさつ、お礼、声掛け

○地域コミュニティの範囲は？

- ・ライフスタイルによって変わってくる？
- ・暮らし方(年代)によってニーズが変わってくるのでは
立場による
- ・ママトモ
- ・町内会
- ・PTA 校区
- ・通りすがりでも助け合いがあればコミュニティなのでは

○地域コミュニティのプレイヤーは？

- ・住民みんな
- ・町内会
- ・働いている人は参加が難しい
- ・消防団、自警団、青少年団、婦人
→今ははっきりとはいえない

○地域コミュニティの役割や課題は？

- ・災害時の助け合い（救出、救急など）
- ・除雪なども暮らし方、年代によって困り方に差がある
- ・地域の困っている人（高齢者や子どもなど）を支え合う
- ・買い物、避難
- ・支え合い、助け合い⇔世代間の違い（暮らし方）
- ・若い人、高齢者、それぞれの暮らし方が違っているため、意識に差がある
多世代で支え合っていかななくてはいけない
- ・性格にもよるが助け合いの気持ちを考えるためには…？

5) E グループ

○地域コミュニティのイメージは？

【町内会】

- ・町内会費
- ・パートナーシップ除雪
- ・回覧板
- ・ゴミステーション
- ・通学路の見回り
- ・地域活性化への基礎部分
- ・町内会の大切さ、再認識
- ・道や市ができないときに行う団体
- ・町内会は参加していない
- ・班長をやったことがある

○地域コミュニティの範囲は？

- ・社宅も大きければ地域コミュニティ
- ・住んでいる人の顔が見えている範囲
- ・町内会の範囲(いくつかの条丁目ブロックの集まり)
- ・夏祭りとかをやるくらいの規模
- ・区や市、道も地域コミュニティと言える
- ・空き家の増加、借家対策について、町内会で何とかして欲しい。
- ・そもそも何故空き家になるのか。空き家になる前にケア出来ないのだろうか。

○地域コミュニティのプレイヤーは？

- ・町内会
- ・消防団
- ・学校、PTA 親同士のつながり
- ・保育園、幼稚園→保護者のグループ？
- ・高齢者施設
- ・コンビニ、スーパー(店)
- ・図書館、体育館、区民センター、市役所(公共)
- ・民生委員(見守り組織)

○地域コミュニティの役割や課題は？

【暮らしに必要なこと】

- ・暮らしの身近なこと(ごみ、除雪)
→必要最低限のこと
- ・環境美化 ごみ拾い、花植え

【安全安心】

- ・高齢者の見守り、声掛け⇔防災(情報発信・避難所・助け合い)⇔子供の見守り
- ・安心安全(通学路・不審者情報の共有)
- ・顔が見える関係→いざという時にも助け合い

【情報発信】

- ・情報の発信・共有(回覧板・メール・SNS…など)
- ・子育て世代のネットワーク(連絡網的な)
- ・LINE でつながっている

【参加参画が少ない】

- ・取組があっても必要としている人がいてもその人達に届いていない
- ・こういうワークショップに参加する人が増えると良い！
- ・参加・参画が少ない 大変なイメージ 働いている人が参画していくのが大変なイメージ
- ・町内会とかその他の団体がどんなことをやっているのか必要性が知られていない

6) F グループ

○地域コミュニティのイメージは？

【町内会】

- ・アパートの住民たち
- ・MS 管理連合+町内会
- ・地域コミュニティとは身近なところで町内会のイメージがある
- ・交流、共存、笑顔

【イベント】

- ・児童会館
- ・夏祭り
- ・防災訓練

○地域コミュニティの範囲は？

【町内会(アパート・単位)】

- ・町内会 等位と連合とで違う
- ・区の祭りは区単位

○地域コミュニティのプレイヤーは？

【現状】

- ・町内会の役員
- ・高齢者の方々のつながり

【連携が必要】

- ・ボランティア 志があると良い
- ・NPO
- ・国の援助があると良い
- ・町内会外でも人材と繋がる仕組み
- ・地域の人々
- ・警察の方、交番の方
- ・学校(地域に学校があるとなつながりやすい)

【誰かがやってくれる…みんなが意見できること】

- ・同じところに向かう
- ・みんなが意見を言える
- ・ダメだとすぐ言わない 積極的に関わる必要あり

○地域コミュニティの役割や課題は？

【高齢者見守り対応】

- ・役所の方が介護に訪ねてくる 様子を見てくれていてうれしい
- ・医療との連携、独居の方に何かがあったときの見守り、対応

【生活を支えること】

- ・ゴミ、除雪、生活を支えるもの
- ・管理組合から企業に頼んでいる

【気軽に集まれる場】

- ・気軽に相談できる場、場所、仕組み、集まれるところ
- ・町内に例のカフェみたいな場所があるといい、気軽にいけるところ

【防災対応】

- ・防災手紙が回ってきた、アンケートで現状を調べていて安心した、町内会でまわしてくれた
- ・災害時の情報提供

(2) テーマ2『これからの地域コミュニティを考えよう!』における各グループの意見

1) A グループ

【防犯・防災】

- ・9月6日の地震のことを考えると、防犯防災

【地域コミュニティ(町内会の範囲くらい)】

- ・地域コミュニティが必要で維持していくには目的がとても大事になる
- ・町内会はなくてもいいかもしれない

【情報発信】

- ・10～30代の地域の住民
- ・情報発信がとても少ない
- ・若い世代に届くような情報発信(SNS)は若い世代ができるのか
- ・仕事とか世代で普通に扱う機器類を使った発信

【地域のイベント、おまつり】

- ・地域のおまつりはあった方がいいのではないか
- ・子ども達のふるさと意識の醸成をする
- ・人と人との触れ合いが少なくなっているのが寂しい

【除雪、排雪】

- ・ボランティア、住民、学生など、テーマによって部隊ができる
- ・高齢者の独居の人の家の除雪、サポートをする
- ・ゴミステーション管理…必要不可欠なので範囲を絞る

【相談窓口】

- ・相談窓口…ゴミのトラブル、高齢者(独居)の人の見守り

【コーディネート機能】

- ・コーディネーター(第3者)…集まることができる場所(空き家・自宅等)…カフェ、子ども食堂…100円食堂とかをやってもいい(おせっかいさん飲食店、カラオケ)

2) Bグループ

○活動

【安心・安全な暮らしを整える】

- ・除雪

【隣近所との関係づくり】

- ・隣近所との関係づくりからプライバシーの問題がつかまといそう…

【あいさつ】

- ・自分から笑顔であいさつをする（「あかるく」「いつも」「さきに」「つづけて」）
- ・「向こうからあいさつしてくれたら返すけど」と思っている人はいる
- ・ごみ出しやバスの待ち合い、雪道の歩行者や車でのすれ違いの時はあいさつする

○地域コミュニティへの参加

【若者の呼び込み】

- ・世代によって“楽しい”が違う？
- ・盆踊り

【共通の趣味から】

- ・共通の趣味があるとコミュニティづくりやすい
- ・趣味のコミュニティ→地域のコミュニティ
- ・イベントの参加者→コミュニティ

【発信する相手】

- ・共通の趣味を持っている人に情報を届けたい
- ・適切な人に情報を届けたい

○情報の見せ方

- ・情報がキャッチーじゃない
- ・どこに何を聞いたらいいのかわからない、わかるように伝えていない
- ・回覧板に代わる何かが必要。回覧板も声掛けずに渡して来る
- ・必要としている情報は見てくれる
- ・広報、情報発信
- ・広報さっぽろは読みづらい
- ・地下鉄のチラシも読みづらい！文字を大きく！！文字は読まない！イラスト多めに！
- ・SNS もいいけど端末を持っていない人にどう伝えるか？

○組織体制

【外部団体の設立】

- ・地域包括センター
- ・外部団体をつくって活動した人には報酬
- ・地域で使える金券、商品券…モチベーションアップがお金というのはさみしいけど…
- ・外部団体(NPO)⇔地域コミュニティ（報酬⇔見守り）
- ・プレイヤーのモチベーションアップ

【手伝いたい思いはある】

- ・困っていることがあればできる範囲で手伝いたい、思っている言い出せない

3) Cグループ

○情報発信

- ・世代に合わせた情報発信
- ・基本的な情報すら届いていない
- ・広報さっぽろに折り込み入れる
- ・回覧板などで情報を
- ・広報さっぽろ 誰か読んでくれるような見せ方

○活動

【人を集める・出て来てもらう】

- ・高齢者は交流を求めている…？
- ・学校生活の一部として関わる機会をつくる→意識づくり ベース
- ・普段から人が集まる場
- ・マイナス面の掛け合わせ 高齢化×少子化
- ・知らないことを知れる機会、関わる機会をつくる
- ・寺小屋で高齢者が子供の勉強を見る
- ・災害、虐待など増えている、ニーズ

【つながりづくり】

- ・昔あったものがなくなった
- ・昔は町内会が担っていたけど現代はそれに替わる組織が必要
- ・リサイクル市 フリーマーケット

【居場所づくり】

- ・子ども食堂 食材のもちより
- ・子どもの居場所づくり 教育・学習支援
- ・複数の課題を解決する

【娯楽】

- ・まちセンにも娯楽の機能を追加する
- ・娯楽を通じた趣味を交流

【健康】

- ・血圧を測る
- ・わずかな時間でもコミュニケーションが取れる
- ・貴重な交流の機会となる
- ・施設で野菜作り 地域の人で管理
→あげいもパーティー(高齢者、子供も)

【歴史】

- ・昔話
- ・地域の歴史を学ぶ
- ・歴史に詳しい高齢者から

○組織体制

【関わる団体】

- ・大学、高校生と一緒に発信方法を考える（インターネット、ホームページの立ち上げ）
- ・高齢者施設、福祉施設
- ・児童会館や地区センター、体育館
- ・教室や伝統行事を伝える獅子舞の演舞などの団体
- ・NPO
- ・神社
- ・個人

【連携の考え方】

- ・つながるための良い流れもつくる
- ・町内会も貴重なプレイヤー
- ・独立した組織にした方が良い

4) Dグループ

○地域コミュニティの活動

- ・災害時の助け合い
- ・災害があったときの協力体制をしっかりとする(備蓄、水)
- ・停電時の水くみを動ける人でやった
- ・AEDをコンビニ(24H)においてほしかった(難しかった)
- ・避難指示があったときに車で連れて行ってくれた(若い人が)
- ・町内会で高齢者を把握する必要がある
- ・子どもが熱出したときに助け合えるといい
- ・見守り
- ・顔が見える関係づくり
- ・町内会を核としたネットワーク

【支え合いの意識醸成】

- ・意識から変えられるしくみ 年代差を埋める
- ・小さい頃から地域コミュニティの大切さを教える

○組織体制・仕組み

【お互いに助け合う仕組み】

- ・“支え合い”のマッチングのしくみ
- ・困りごとと助けられる人のマッチングができるしくみが必要
- ・高齢者と若い方それぞれで助け合える
- ・若い人に教えてあげられることもある
- ・こういうことに困っていると発信があれば手伝いやすい
- ・顔が見える関係が必要

【情報発信】

- ・SNSなど“今”やれること、若い人は時間があればできることはやる
- ・話せる窓口?場づくりが必要
- ・掲示板、伝言板での情報共有
- ・ネットありきは難しい→顔が見える関係づくり
- ・やっている姿をみていると参加しやすくなる

【お金が回る仕組み】

- ・報酬についてもお互いのマッチングが必要
- ・高齢者がバリバリ元気だから、若い人もどう参加していいかわからない
- ・やりがいを感じられれば若い人もやりたいのではないかな
- ・経済がまわっていいのでは?(お金を支払う)
- ・お金がかかることだと話しにくい
- ・お金がかかった方が頼みやすいかもしれない
- ・活動に合わせて報酬があると良い場合がある
- ・支払いの中でもお金のやりとり、循環がある

【関わる団体】

- ・町内会は団体同士の連携の情報共有やマッチングを行う
- ・若い人だけの団体や PTA が関わるとよい
- ・町内会だけでは若い人達の参加が少ない
- ・若いニーズを聞く機会が必要
- ・若い世代だけの勉強会、チーム組織があるとよい
- ・町内会・PTA などがネットワークとして普段から繋がっておく必要がある
- ・町内会を核に他団体と連携していく
- ・コミュニティ内の連携を密にとれる仕組み

5) E グループ

○活動

【町内会の活動】

- ・町内会は暮らしに必要なことだけを行うよう、事業を縮小する
- ・ごみ、除雪 一度リセットしてできることだけやってみる
- ・環境美化(花植え、ごみ拾い)
- ・行政の手の届かない部分をやっていくイメージ
- ・取りまとめ役が町内会で、プレイヤーは他団体も含めみんなでやっていく

【高齢者の見守り】

- ・交流として、高齢者のサロンやランチ会
- ・民間に委託して費用を支払う(デイサービスなど)
- ・買い物支援(外の業者)はトドック・スーパーでお届け
- ・PC1 台を置いて高齢者が学べるような場があるとよい

【暮らしの相談】

- ・窓口機能→困りごとを聞き合える関係づくり
- ・地域のお店や病院、公共施設に相談窓口を担ってもらう

【子どもの見守り】

- ・子どもの見守り
- ・子育ての支援

【交流の場づくり】

- ・場があると良い
- ・地域のカフェ、食堂など

【情報発信】

- ・ふりっばーなどで情報発信

○仕組みや組織体制

【お金を回す仕組み】

- ・地域で稼ぐ仕組み
- ・町内会じゃなくてもいい
- ・法人化して儲かる仕組みに

【組織体制】

- ・別組織を立ち上げる(会社?行政?NPO?)
- ・サービスを必要とする人たちで出資する
- ・事務局を担う人は専任で退職後の方などにしてもらう(報酬も出して)
- ・活動は全ての団体で一緒に行う
- ・情報の集約やコーディネートする人が必要

【関わる団体や人】

- ・町内会、高齢者向け団体(民生委員 社協)、学校 PTA、企業、公共施設、NPO、住民

6) Fグループ

○活動

【情報共有(子育て、高齢者、防災について)】

- ・地域での情報を共有することが大切
- ・どんな人が何を求めているのかを知る共有
- ・班長同士が集まって情報を共有する→住んでいる人にも知らせる
- ・回覧板で回していく
- ・地域で起こっていることを誰に言ったらいいか？わからない
- ・大家さんに管理してもらっている 困っていない

【情報交換の場】

- ・情報が共有できる場で、気軽に行けるところが必要
- ・大谷地のマンションでは難しい
- ・常にオープンなところがいい
- ・喫茶店のようなところやカフェ、公民館

【子育て支援の仕組み】

- ・個人の家で地域の子育て支援を行っている場所がある
- ・学校と連携して昼間に子どもを見てくれる人を探す（顔見知りや身元わかっている人）

【空き家活用行き場づくり】

- ・今後増えていく空き家を活用していく
- ・読まなくなった本を置いておける
- ・町内の中で流動的に場所を変えていいだろう
- ・行き場所がない高齢者が多いため行き場をつくる

【若い人はイベントなど楽しいことで参加】

- ・地域コミュニティを比較的求めている人達を引き込む
- ・同年代の人が地域コミュニティにいたら行きやすい
- ・SNS のつながり わくわく、楽しいことに入ってくれる
- ・若い人は同士が集まると行きやすい
- ・高齢者とのつながりとして、イベントで交流する仕組みがあるといい
- ・地域で機会を増やしていく

○組織体制

【外部からのアドバイス】

- ・NPO など外部からの活性化の手伝いがあるとよい
- ・負担を減らす+アイディアを得る
- ・町内会アドバイザー支援 NPO
- ・若い人をどう入れるかアドバイスしてほしい

【中心は町内会】

- ・生まれたところ、住んでる人で担っていきたいと希望がある
- ・住んでいる人が自分達の住んでいる地域を見る、組織しすぎると嫌
- ・中心となるのは町内会のイメージ

- ・誰もが意見を言えるような組織である必要がある（連携）
- ・必要 機能→監査

【他組織との連携】

- ・大家さんや管理組合との連携
- ・医療機関、警察と町内会が繋がる

【学校で地域コミュニティとの関わりについて学ぶ】

- ・学校の授業の一つで体験ができる
- ・お祭り、ごみ拾いなどから参加してもらう